



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
 ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～

2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)

文化芸術 共創 プログラム

次なる〈共創〉の紡ぎ手となるために—

「共に創る、楽しむ、学び、伝える」ことをテーマにした様々なプログラムを通じて、立場や環境の違い、障がいの有無などにかかわらず、多様な人々どうしがまじり合い、わかり合う、そして喜びを交わし合い、尊重し合いながら、共に生きる社会のあり方を見つめなおす—

そんな、文化芸術の〈共創〉を生み出す力を体験し、参加者自身が次なる〈共創〉の紡ぎ手となるプロセスを学ぶワークショップ、フォーラムを、「場の力」にもこだわりながら開催します。それらの成果を「清流の国ぎふ」文化祭2024へとつなぎます。

絵は苦手?でも大丈夫!
 日本画の伝統技法「銀箔貼り」を体験
 &みんなの作品を合わせて
 大きな屏風絵が出現!!

障がいの
ある人も、
ない人も



講師

かんべ ともゆき
神戸 智行

日本画家

岐阜市生まれ。多摩美術大学大学院 美術研究科 日本画専攻修了。2008年、文化庁の在外研修員として渡米、ボストンに1年間滞在。澄みわたる水面やちいさな生きものたちを題材に描いた「イノセント・ワールド」シリーズで注目を集め、国内外で個展を開催するなど活躍。現在は福岡県太宰府市在住、2014年より太宰府天満宮 文書館の襖絵を制作。



会場となる「せきがはら人間村生活美術館」は、約15万平方メートルもの敷地内に、世界的に活躍する現代美術作家たちの作品や美術館、食堂・カフェなどが点在し、誰もが自由にアートにふれられます。関ヶ原の自然や古戦場の原風景に溶け込んだ空間で、平和に満ちた気の流れを感じられます。

西濃 プロジェクト.2

ともに 感じる、えがく、あらわす 日本画ワークショップ

会場は関ヶ原にある広大な芸術空間。

さまざまなアートが散りばめられている空間をみんなで散策しながら、感じたインスピレーション、イメージーションを、

日本画の伝統技法「銀箔貼り」を用いて色紙に表現してみましょう。

仕上がった作品は大きな屏風に貼って「清流の国ぎふ」文化祭2024で披露します。

2023年12月9日(土)

11:00～16:00

会場 **せきがはら人間村生活美術館・人間塾**

不破郡関ヶ原町2067 株式会社関ヶ原製作所内

JR関ヶ原駅から徒歩20分

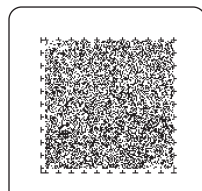
持ち物 **筆記用具、メモ帳またはスケッチブック等、昼食**

参加
無料

定員
20名

詳しくは裏面を
ご覧ください

▶ 専用アプリなどを利用して
情報を音声として聞くことが
できます。



音声コード Uni-Voice

主催 「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会

